

<事業者の概要>

1. 所在地：島根県松江市石橋町335番地
2. 代表者：代表取締役社長 田中裕一郎
3. 主な品目（製造品）：日本酒、焼酎、みりん
4. 主な輸出先国：アメリカ、香港、中国等 13か国・地域
5. 事業概要：1882年(明治15年)に創業。日本酒発祥の地と言われる出雲の国で、先代の遺志を受け継ぎ、伝統の酒造りの技法の継承と酒文化を広げた。社名は、酒を称えた詩を多く詠んだ中国唐代の詩人「李白」に因んで命名。



アメリカでの日本酒普及活動



李白酒造の輸出商品

【輸出の取組内容】

- 1980年代から精力的に海外展開を図り、現在はアメリカ、香港、中国等の国々に輸出し、売上全体の45%になっている。海外では、日本食と共に愛飲されるお酒の展開を図っている。
- 日本酒輸出協会に設立当時（1997年）から参加し、海外での日本酒の普及にも努めてきた。
- 現地のインポーターとの信頼関係を構築し、現地での販売戦略の立案と李白の銘柄を育てる意識を醸成する。

【取組経緯】

- 経営理念である「酒文化を普及し正しく後世に継承する」ことを実現し、広く世界に伝播させるため、また、国内市場が減少する中、輸出により売上増加と販路拡大を図るため、1980年代から輸出を開始。

【課題と対応方法】

○日本酒（地酒）の評価を低下させないため、品質管理や適正価格での販売に取り組む。
→当社から輸出先国へ出向きインポーターの選定に力を注ぎ、信頼できるインポーターの選定を行う。

【実績】

輸出額(百万円)		輸出国割合(%) 2023年	
2021年	181	アメリカ	80
2022年	162	香港	7
2023年	84	中国	5
		その他	8

【今後の事業展開】

- ✓ 世界に日本酒が広がる中、取り扱いに対する知識を普及させるため、日本酒のオピニオンリーダーの育成と愛好家を増やす活動としてプレゼンテーションに取り組む。
- ✓ 大学と連携し、自然界から分離された花酵母を活用した商品開発に向け、酒造会社や輸出事業者、バイヤー等と情報収集・情報交換を行い、日本酒の普及に取り組む。